

## 肺悪性腫瘍手術施行患者における 抗菌薬2 日以内中止率

### 測定対象

《分子》 分母のうち、手術当日から数えて 3 日目に、抗菌薬を処方していない患者数

《分母》 肺悪性腫瘍手術を施行した退院患者数

### 結果

2019 年度 2.0 %

2018 年度 0.0 %

## 肺悪性腫瘍手術施行患者における手術部位感染予防のための抗菌薬遷延率

### 測定対象

《分子》 分母のうち、予防的投与後（手術当日から数えて 3 日目以降）も抗菌薬を 7 日以上連続で処方した患者数

《分母》 肺悪性腫瘍手術を施行した退院患者数

### 結果

2019 年度 4.7 %

2018 年度 14.6 %

### 抗菌薬分析

肺悪性腫瘍手術に関しては、創クラス分類で準清潔創となっており通常経過では、術後 4 8 時間以内までの抗菌薬投与が推奨されています。大学附属病院という特性上免疫能低下例も多く含まれますが、2019 年において 72 時間目に 2%しか抗菌薬が中止されていないことが判明しました。プロトコルの改善を検討していきます。

抗菌薬を 7 日以上投与された患者は、4.7%であり、14.6%から 10%程度低減しています。併存症罹患率および術後合併症発症率を考慮すると妥当なレベルと評価しています。